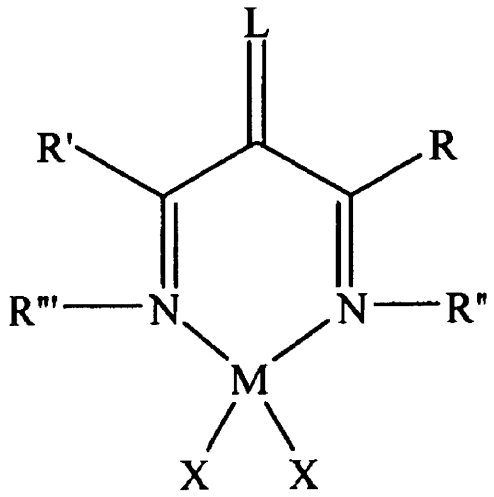
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公表番号】特表2011-522071(P2011-522071A)
【公表日】平成23年7月28日(2011.7.28)
【年通号数】公開・登録公報2011-030
【出願番号】特願2011-510554(P2011-510554)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ　4/70　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ　10/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｆ　15/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ　4/70
Ｃ０８Ｆ　10/00　５１０
Ｃ０７Ｆ　15/04

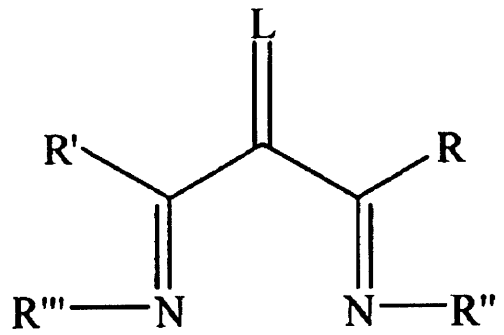
【誤訳訂正書】
【提出日】平成26年3月25日(2014.3.25)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式（Ｉ）に従って、オレフィンの高分子量ポリマーへの重合及び共重合を可能とする開始剤である有機金属複合体：
【化１】



(I)

ここで：
Ｒ、Ｒ’、Ｒ”及びＲ’’’は、１またはそれ以上の官能基を有するまたは有しない、それぞれ独立してアキラルまたはキラルのアルキルまたはアリール基であり；

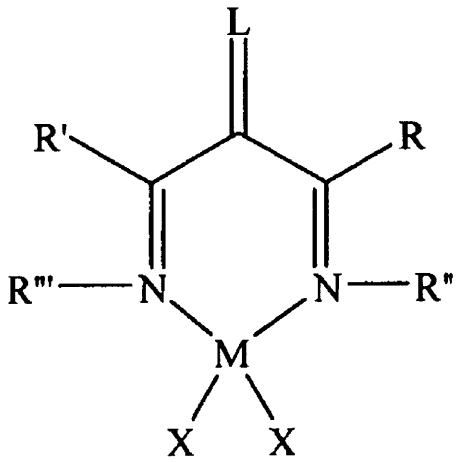
Ｍは、Ｆｅ、Ｃｏ、Ｎｉ、ＰｄまたはＰｔであり；
Ｘは、アルキル、水素またはハロゲン基であり；及び、
Ｌは、Ｏ、Ｎ－Ｒ’’’’、Ｓまたは＝CH_2であり、ここで、Ｒ’’’’は、アルキルまたはアリール基である。
【請求項２】
Ｒ及びＲ’が、それぞれアルキルであり、Ｒ’’及びＲ’’’が、それぞれアリールである請求項１に記載の複合体。
【請求項３】
Ｌが、Ｏである請求項１に記載の複合体。
【請求項４】
Ｒ及びＲ’が、それぞれアルキルであり、Ｒ’’及びＲ’’’が、それぞれアリールである請求項３に記載の複合体。
【請求項５】
Ｒ及びＲ’が、それぞれメチルである請求項４に記載の複合体。
【請求項６】
Ｒ’’及びＲ’’’が、それぞれ２，６ジ置換アリールである請求項４に記載の複合体。
【請求項７】
前記複合体が、２，４－ビス（２，６－ジイソプロピルフェニルイミノ）ペンタン－３－オンジブロモニッケルまたは２，４－ビス（２－イソプロピル－６－メチルフェニルイミノ）ペンタン－３－オンジブロモニッケルである請求項４に記載の複合体。
【請求項８】
金属化合物を式ＩＩのリガンドを伴って混合することを含む開始剤である有機金属複合体の製造方法：
【化２】



(II)

ここで、Ｒ、Ｒ’、Ｒ’’及びＲ’’’は、１またはそれ以上の官能基を有するまたは有しない、それぞれ独立してアキラルまたはキラルのアルキルまたはアリール基であり、Ｌは、Ｏ、Ｎ－Ｒ’’’’、Ｓまたは＝CH_2であり、ここで、Ｒ’’’’は、アルキルまたはアリール基である。
【請求項９】
Ｒ及びＲ’が、それぞれアルキルであり、Ｒ’’及びＲ’’’が、それぞれアリールである請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
Ｌが、Ｏである請求項８に記載の方法。
【請求項１１】
Ｒ及びＲ’が、それぞれアルキルであり、Ｒ’’及びＲ’’’が、それぞれアリールで

ある請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
Ｒ’’及びＲ’’’が、それぞれ２，６－ジイソプロピルフェニルまたは２－イソプロピル－６－メチルフェニルである請求項８に記載の方法。
【請求項１３】
前記金属化合物が、金属ハロゲン化合物複合体である請求項８に記載の方法。
【請求項１４】
前記金属化合物が、（１，２－ジメトキシエタン）ジブロモニッケル複合体である請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
１またはそれ以上のオレフィンを有機金属複合体及び共触媒と共に混合して、前記１または２以上のオレフィンを含むポリマーを製造する重合方法であって、該有機金属複合体は式（Ｉ）を有している：
【化３】



(I)

ここで、
Ｒ、Ｒ’、Ｒ”及びＲ’’’は、１またはそれ以上の官能基を有するまたは有しない、それぞれ独立してアキラルまたはキラルのアルキルまたはアリール基であり；
Ｍは、Ｆｅ、Ｃｏ、Ｎｉ、ＰｄまたはＰｔであり；
Ｘは、アルキル、水素またはハロゲン基であり；及び、
Ｌは、Ｏ、Ｎ－Ｒ’’’’、Ｓまたは＝CH_2であり、ここで、Ｒ’’’’は、アルキルまたはアリール基である。
【請求項１６】
Ｒ及びＲ’が、それぞれアルキルであり、Ｒ’’及びＲ’’’が、それぞれアリールである請求項１５に記載の重合方法。
【請求項１７】
Ｌが、Ｏである請求項１５に記載の重合方法。
【請求項１８】
Ｒ及びＲ’が、それぞれアルキルであり、Ｒ’’及びＲ’’’が、それぞれアリールである請求項１７に記載の重合方法。
【請求項１９】
前記複合体が、２，４－ビス（２，６－ジイソプロピルフェニルイミノ）ペンタン－３－オンジブロモニッケルまたは２，４－ビス（２－イソプロピル－６－メチルフェニルイ

ミノ）ペンタン－３－オンジブロモニッケルである請求項１５に記載の重合方法。
【請求項２０】
１またはそれ以上のオレフィンは、それぞれ独立して：$R^1CH=CH_2$；シクロペンテン；スチレン；ノルボルネン；１またはそれ以上の置換基で置換された、シクロペンテン、スチレンまたはノルボルネン；または式$H_2C=CR^2X$の極性オレフィン；ここで、R^1は、水素、アルキル基、または、１またはそれ以上の官能基で置換されたアルキル基であり；R^2は、水素、アルキル基、アリール基またはアルコキシ基であり；Ｘは、極性基である請求項１５に記載の重合方法。
【請求項２１】
Ｘが、：ハロゲン；－ＣＮ；$-C_6H_5N$；$-CONR^3R^4$；$-OR^3$；$-COOR^3$；$-OCOR^3$；$-COR^3$；$-C_6H_5OR^3$；または$-C_6H_5NR^3R^4$であり；ここで、R^3及びR^4は、それぞれ独立して水素またはアルキル基である請求項２０に記載の重合方法。
【請求項２２】
単一のオレフィンを重合する請求項１５に記載の重合方法。
【請求項２３】
生成されるポリマーが、ポリエチレンまたはポリプロピレンである請求項２２に記載の重合方法。
【請求項２４】
２つの異なるオレフィンを重合する請求項１５に記載の重合方法。
【請求項２５】
前記ポリマーを、リビング重合工程によって重合する請求項１５に記載の方法。
【請求項２６】
２つの異なるオレフィンを、ブロック重合が製造されるように重合する請求項２５に記載の方法。
【請求項２７】
前記共触媒が、アルキルアルミニウム、アルミノキサンまたはホウ酸塩化合物である請求項１５に記載の重合方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２２】
さらなる側面においては、重合工程が提供される。その工程は、１またはそれ以上のオレフィンを有機金属複合体と共に混合して、前記１またはそれ以上のオレフィンを含むポリマーを製造することを含む。この工程において、有機金属複合体は、式（Ｉ）の構造、または式（Ｉ）のあらゆる実施形態を有している。種々の実施形態が提供され、実施形態としては、Ｒ及びＲ’がそれぞれアルキルであり、Ｒ’’及びＲ’’’がそれぞれアリールであり；実施形態としては、ＬがＯであり；実施形態としては、ＬがＯ、Ｒ及びＲ’がそれぞれアルキル、Ｒ’’及びＲ’’’がそれぞれアリールであり；実施形態としては、Ｒ及びＲ’がそれぞれメチル、Ｒ’’及びＲ’’’がそれぞれアリールであって、ＬがＯである実施形態も含み；実施形態としては、Ｒ及びＲ’がそれぞれアルキル、Ｒ’’及びＲ’’’がそれぞれ２，６ジ置換アリールであって、ＬがＯである実施形態も含み;及び、実施形態としては、有機金属複合体が２，４－ビス（２，６－ジイソプロピルフェニルイミノ）ペンタン－３－オンジブロモニッケル、または、２，４－ビス（２－イソプロピル－６－メチルフェニルイミノ）ペンタン－３－オンジブロモニッケルであることが含まれる。